

法人名:国際協力機構

「公益法人に対する支出の公表・点検の方針について」(平成24年6月1日 行政改革実行本部決定)に基づく  
 独立行政法人から公益法人への契約以外の支出についての情報の公開(平成24年度第2四半期分)

交付又は支出先法人名称	名目・趣旨等 ※1	交付又は支出額 (単位:円)	(会費の場合) 支出先法人が 定める会費一 口当たりの金 額、もしくは最 低限の金額 (単位:円)	交付又は 支出日等 (支出決定 日)	(会費の場合) 支出の理由等	公益法人の場合 (H24.8月 現在)	
						公益法 人の区 分 ※3	国所管、都道 府県所管の 区分
大阪国際交流センター	施設利用料	138,663		8/9		公財	国所管
海外子女教育振興財団	会費等	1,500,000	1,500,000	7/19	当機構職員等が海外駐在する際の日本人学校の開設・運営および安全対策上、必要と判断されるため。	公財	国所管
キープ協会	施設利用料	268,000		8/2		公財	国所管
国際文化会館	施設利用料	1,075,446		8/30		公財	国所管
国際文化会館	旅費・交通費	1,357,463		8/30		公財	国所管
水道技術研究センター	専門家等の派遣経費	430,025		※2		公財	国所管
中東調査会	会費等	125,000	125,000	7/19	中東関連の情報取得及びセミナー参加のため。(6月末をもって退会したため、第1四半期分の会費のみ支払うもの。)	公財	国所管
日本国際交流センター	研修参加費等	250,000		9/13		公財	国所管
青年海外協力協会	講義謝金等	144,093		7/12, 9/6		公社	国所管
青年海外協力協会	専門家等の派遣経費	143,909,406		※2		公社	国所管
日本国際協力センター	専門家等の派遣経費	3,687,000		※2		特財	国所管
日本溶接協会	専門家等の派遣経費	185,974		※2		特社	国所管
合計		153,071,070					

## 【記載要領】

(注1)「公益法人等」には、特例民法法人、公益社団・財団法人が含まれる。

(注2)「名目・趣旨等」には、その詳細を簡潔に記載すること。

(注3)「会費一口当たりの金額、もしくは最低限の金額」の欄は支出先法人が定める会費一口当たりの金額もしくは最低限の額を記載すること。

※1:各名目の具体的内容は以下のとおり。

- ・会費等:会費、賛助会費及び購読会費等
- ・施設利用料:研修業務、市民参加協力業務にかかる施設使用料及び共益費等
- ・専門家等の派遣経費:専門家及び調査団員の所属先への人件費補てん
- ・旅費・交通費:研修業務及び調査業務にかかる旅費及び交通費等
- ・講義謝金等:研修業務、市民参加協力業務にかかる講義等にかかる謝金等
- ・研修参加費等:職員等の研修・セミナー参加費及び教材費等

※2:専門家等の派遣経費の支出決定日は個人ごとに異なるが、原則として四半期毎に支払われている。

※3:公益法人の区分において、「公財」は、「公益財団法人」、「公社」は「公益社団法人」、「特財」は、「特例財団法人」、「特社」は「特例社団法人」をいう。